

令和3年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

南部町立名川中学校 1年 松本 佳恋

※受賞当時の学校と学年です

優秀賞作品

画面から とび出す言葉 胸をさす

地域と学校はパートナー

地域学校協働活動を紹介します!

地域学校協働活動とは?

地域学校協働活動とは、「**学校を核とした地域づくり**」を目指し、地域住民や学生、保護者、企業等の幅広い参画を得て、**地域と学校が連携・協働して行う様々な活動**のことです。

地域住民と先生方がお互いに手を取り合い、同じ目標に向かって継続して活動することで、学校においては、子どもたちの地域に対する理解や関心が深まり、コミュニケーション能力が向上するなど、子どもたちの健やかな成長につながります。また、地域にとっても、活動自体が住民にとっての生きがいにもなり、地域の活性化や教育力の向上にもつながります。地域学校協働活動は、学校と地域のお互いにとって、まさにWIN-WINな取組です。



地域や学校での活動を紹介します!

青森市浦町中学校区



世代を超えたグループワーク

自分たちが住むこれからの「まちづくり」について、小学生、中学生、大学生、地域住民が意見交換しました。小・中学生からは「もっと地域のことを知りたいし、地域の方の手助けになることをしたい」、大学生からは「イベントを休日に開催するなどし、子育て世代の方が参加しやすくなるよう工夫したい」などの意見が出されました。世代間の交流が、地域活性化のきっかけになっています!

三沢市立古間木小学校



地域住民による絵画教室

夏休みの子どもたちの課題を支援する「ふるまぎゼミナール」の一環として、地域の方々を講師に招いて絵画教室を行いました。子どもたちからは絵が上達したことへの喜びの声、保護者からは指導への感謝の声が聞かれました。地域の方々の熱心な指導により、子どもたちの成長が支えられています!

中泊町立小泊小学校



地元郷土史家から学ぶ地域の学習

地域の歴史や文化について、地元の郷土史家に専門的な説明をしていただきました。子どもたちは、「地域の公園にある像は、2200年程前に中国から日本へ渡来したとされる伝説の人物『徐福』の像だった」など、普段何気なく見ているものにも歴史があると知り、新しい発見やもっと知りたくなったことなどを熱心にメモをしていました。子どもたちが地域のよさに気付くとともに、地域の人との繋がりが増えています!

八戸市立柏崎小学校



高校生による学習支援

夏休みを利用して、学習会を行いました。最初は緊張していた子どもたちも、高校生の温かい指導により次第に笑顔で学習に取り組むようになり、子どもたちと高校生との交流が深まりました。お兄さん・お姉さんたちとの交流が、子どもたちのコミュニケーション能力の向上につながっています!

県教育委員会では、令和5年1月、「**地域学校協働活動ハンドブック実践編**」を作成し、県内の各学校等に配付しました。県教育委員会ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。
https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-shogai/aomorimanabi-e_shogai.html



地域との連携を担う教職員研修



学校が地域と連携・協働する必要性や地域連携を担う教職員等としての役割について学ぶ研修会を、県内6地区で開催しました。

このうち、東青地区と三八地区では、大阪府で長年、学校・地域・家庭を結ぶ活動をされている、ゆめ☆まなびネット代表の大谷裕美子氏を講師に迎え、講義を行いました。

「子どもは“学校の子”であると同時に“地域の子”です」という講師の言葉に参加者は大きくうなずき、地域との連携の大切さを再認識していました。



令和4年度「全国学力・学習状況調査」・「学習状況調査」の結果をお知らせします



文部科学省「全国学力・学習状況調査」 令和4年4月19日(火)実施

小学校6年生は国語・算数・理科、中学校3年生は国語・数学・理科の3教科で調査を実施しました。さらに学習意欲や学習方法等について、児童生徒や学校に尋ねる質問紙調査も行いました。

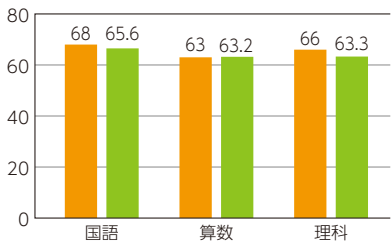
今回の調査結果では、本県の児童生徒はすべての教科において、平均正答率が全国平均を上回るか、同程度であり、概ね良好な状況でした。

この結果は、児童生徒が粘り強く主体的に学習に取り組んできたこと、そして、各学校が積極的な授業改善や指導を積み重ね、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中においても、児童生徒の心身の状態や学習状況の把握に努めてきたこと等が反映されたものと考えられます。



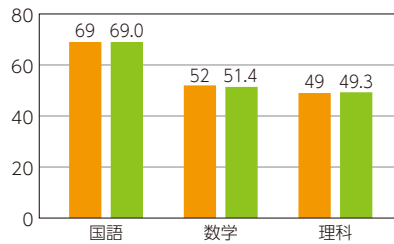
小学校6年生

青森県の正答率 %
全国平均 %



中学校3年生

青森県の正答率 %
全国平均 %



県教育委員会「学習状況調査」 令和4年8月31日(水)実施

小学校5年生は国語・社会・算数・理科の4教科、中学校2年生は国語・社会・数学・理科・英語の5教科で調査を実施しました。

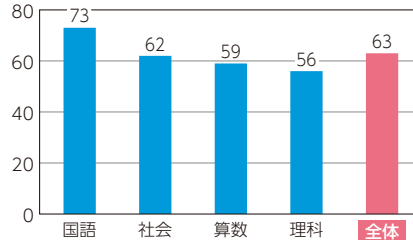
今年度は、学習指導要領が示す「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を問う問題を出題しました。また、各教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、情報を精査して考えを形成することを重視した問題も各教科において数題出題しました。

今回の調査結果から、本県の小学校5年生、中学校2年生の学力の状況は、教科や内容によって成果や課題はあるものの、教科全体の平均としてみると、小学校ではおよそ6割、中学校ではおよそ5割を上回る通過率でした。

これは、各学校においてこれまでの調査の分析結果の共有を図りながら、指導方法等の工夫及び改善に継続して取り組んできたことが表れたものと捉えています。

小学校5年生

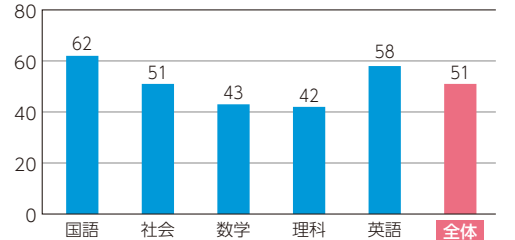
通過率 %



※通過率(%)は、「総正答数/総解答数」で算出した数値の小数第1位を四捨五入した整数値で表しています。

中学校2年生

通過率 %



県教育委員会HPからダウンロードできます

全国学力・学習状況調査 本県の結果と今後の対策



学習状況調査実施報告書



問合せ先 学校教育課 小中学校指導グループ TEL 017-734-9895

パソコン・タブレットなどの効果的な活用を目指します!

県教育委員会では、GIGAスクール構想*の更なる充実を目指し、一人一台端末を効果的に活用した学習指導により児童生徒が新しい時代に求められる資質・能力を身に付けられるよう、令和3・4年度の2年間、小・中学校における教員のICT活用指導力向上事業を実施しました。

*GIGAスクール構想 (Global and Innovation Gateway for All: 全ての児童・生徒のための世界につながる革新的な扉)

取組1 ICT活用指導力向上研修会

令和3年度は459名、令和4年度は396名と、2年間でのべ855名の教員が研修会に参加し、「授業の可能性が広がった」「色々な機能が授業に役立つことを実感した」などの感想が寄せられています。

参加者が、自身の学校の校内研修で研修資料を活用し、まわりの教員にも研修内容を伝えることで、県内全域で教員のICT活用指導力の向上が図られています。



ICT機器を活用した模擬授業を行い、様々なアプローチの仕方を学びました。

意見を出し合い、授業の進め方や改善点などについて考えを深めました。



オンラインで文部科学省GIGAStuDX推進チームからICT活用に関する情報を学びました。



取組2 ICT活用応援サイトの整備を進めます ～先進的な取組の共有・活用～

【ICT活用応援サイトに掲載される授業実践例】

県立三本木高等学校附属中学校「式の計算の利用」

県立三本木高等学校附属中学校では、令和3・4年度、デジタル教科書及び学習支援機能を用いた効果的な指導についての研究に取り組んできました。

右の事例では、授業中の「課題把握」「課題追究(情報収集)」、「まとめ」のそれぞれの場面でのどのようにICT機器を活用したか、また、担当した教員の感想などを紹介しています。

ICT活用応援サイトに授業実践例やICTを活用した授業動画を掲載し、先進的な取組を教員が共有・活用できるようにします。

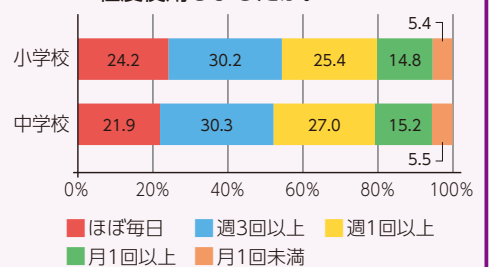


青森県のICT機器活用状況

青森県内では、小学校で約1/4、中学校で約1/5の学校で「ほぼ毎日」ICT機器が活用されている状況です。「週3回以上」を含めると、小・中学校ともに約1/2の学校で積極的に活用されています。

また、「学校における教育の実態等に関する調査」(令和3年度学校における教育の情報化の実態等に関する調査(R4.3現在)文部科学省調査)では、約8割の教員がICT活用に関する研修を受講し、児童生徒のICT活用を指導することができると回答しています。

問 前学年までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。



※小6、中2が回答
[令和4年度全国学力・学習状況調査児童・生徒質問紙(R4.4)文部科学省調査]

問合せ先 学校教育課 小中学校指導グループ TEL 017-734-9895



学ぼう!体験しよう!わたしたちの地元の文化財

～小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業～



北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されて注目が集まる中、県教育委員会では令和3年度から、小学生が縄文遺跡をはじめとする地域の文化財について学習・体験活動を行う「小学生による縄文遺跡と地域の文化財体験事業」を実施しています。本事業を通じて、子ども達に地域の文化財の価値や魅力を知ってもらうとともに、将来的に文化財の保存・活用に携わる人財の育成につなげていきます。

※人は青森県にとっての「財（たから）」であることを基本的な考え方としており、「人材」を「人財」と表記しています。

■地域の文化財に関する学習・体験活動(Aグループ) 学習・体験したことを様々なかたちで発表します

外ヶ浜町立三厩小学校



青森大学「ぬい撮り倶楽部」の指導を受け、「ぬい撮り」という方法で地域の文化財を紹介します。

弘前市立西小学校



タブレット端末を活用して地域の文化財の魅力伝えるスライドを作成し、紹介します。

七戸町立天間林小学校



福岡県の小学校とオンラインでお互いの地域の文化財を紹介し合います。

■地域の文化財に関する講座の開催(Bグループ) 地域の文化財に触れるための講座に参加します

つがる市立森田小学校



青森市・小牧野遺跡

むつ市立大湊小学校



むつ市・旧大湊水源地水道施設

階上町立道仏小学校



階上町・道仏神楽

取組スケジュール

県内6小学校を2つのグループに分け、講座や学習・体験活動を実施します。

R3	<ul style="list-style-type: none"> ●学習・体験プログラム検討会議の開催 ★地域の文化財に関する講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・外ヶ浜町立三厩小学校 ・弘前市立西小学校 ・七戸町立天間林小学校 	Aグループ
R4	<ul style="list-style-type: none"> ★地域の文化財に関する講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・つがる市立森田小学校 ・むつ市立大湊小学校 ・階上町立道仏小学校 ★地域の文化財に関する学習・体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・上記Aグループの小学校 	Bグループ
R5	<ul style="list-style-type: none"> ★地域の文化財に関する学習・体験活動 <ul style="list-style-type: none"> ・上記Bグループの小学校 ●学習・体験プログラム集の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・県内6小学校の活動内容をまとめます 	

問合せ先 文化財保護課 文化財グループ TEL 017-734-9920

あおもりの中学生・高校生による「大切なあなたへ薦める青春の一冊」

いじめ防止標語コンクール

受賞作品が決定しました!

あおもりの中学生・高校生による「大切なあなたへ薦める青春の一冊」

県教育委員会では、中学生・高校生の皆さんにより本に親しんでもらうために、仲間や友達などへのおすすめの本の紹介文を募集しました。今年度は、4,080点の応募があり、以下のとおり最優秀賞、優秀賞が決定しました。

中学生の部

最優秀賞

八戸市立江陽中学校3年 三浦 大雅
「六畳間のピアノマン」(安藤 祐介/著)

優秀賞

青森市立新城中学校2年 千葉 結月 「ある晴れた夏の朝」(小手鞠 るい/著)

八戸聖ウルスラ学院中学校3年 田中 未来 「カラフル」(森 絵都/著)

県立三本木高等学校附属中学校2年 高橋 一花 「かがみの孤城」(辻村 深月/著)

県立三本木高等学校附属中学校2年 小島あやめ 「よるのぼけもの」(住野 よる/著)

八戸市立江陽中学校1年 工藤 彩葉 「かがみの孤城」(辻村 深月/著)



高校生の部

最優秀賞

県立青森聾学校高等部3年 古川瑛梨奈
「元女子、現男子。忘れたい過去もある。けど、それを含めて僕だと気づいた。」(木本奏太 かなたむ。/著)

優秀賞

県立八戸商業高等学校1年 川畑 悠 「君の臍臓をたべたい」(住野 よる/著)

県立七戸高等学校3年 岡山 花梨 「往復書簡」(湊 かなえ/著)

県立浪岡高等学校3年 奥瀬 瑠
「ママがもうこの世界にいらなくても 私の命の日記」(遠藤 和/著)

県立鱒ヶ沢高等学校3年 神 楓真 「よるのぼけもの」(住野 よる/著)

県立五所川原工科高等学校2年 成田 寛人
「一瞬を生きる君を、僕は永遠に忘れない。」(冬野 夜空/著)

いじめ防止標語コンクール

令和4年度いじめ防止標語コンクールには、9,197点の応募がありました。審査の結果、以下の作品が優秀作品に決定しました。今後、優秀作品をもとにしたCMを放送するほか、YouTubeで公開する予定ですので、ぜひご覧ください。

優秀作品

友だちを たすける人におれはなる
(青森市立新城小学校2年 平山 楓大)

いじめゼロ 標語だけでは 終わらせない
(中泊町立中里中学校2年 三上 愛)

やさしさの たねをまいたら えがおさく
(弘前市立岩木小学校3年 平澤 莉緒)

いじめの芽 つんで笑顔の 種まこう
(十和田市立三本木小学校4年 畑山 理人)

気づいてる? いじめと遊びの 境界線
(むつ市立大平中学校1年 木村 純々音)

思いやり みんなでもって いじめゼロ
(県立八戸聾学校中学部3年 松沢 宏人)

審査員特別賞

いじめてる その子も誰かの 宝物
(つがる市立柏中学校3年 中村 翔吾)

SNS 画面の向こうも 1人の人間
(県立木造高等学校深浦校舎3年 西崎 未空)

声かけで 心つながる なか間の輪
(むつ市立脇野沢小学校4年 大黒 鈴)



過去に制作したCMはこちらから視聴可能です



問合せ先 生涯学習課 企画振興グループ TEL 017-734-9888

重点校・拠点校の令和4年度の取組を紹介します!

県教育委員会では、県全体における高校教育の質の確保・向上を図るため、青森県立高等学校教育改革推進計画第1期実施計画に基づき、普通科の重点校6校、農業科・工業科・商業科の拠点校6校を各学科の教育活動の中核的な役割を担う高校として配置しています。重点校、拠点校の各校が他校と連携する具体的な取組の一部として、五所川原高校と三本木農業恵拓高校の取組を紹介します。

重点校 五所川原高校：探究ポスターセッション

日程：令和4年11月24日 場所：五所川原高校
参加：五所川原高校のほか、鱈ヶ沢高校、中学校関係者等から計38名

五所川原高校2年生が自分の興味・関心に基づくテーマについて研究・検証し、その結果をポスターにまとめて発表する会を開催しました。このことにより、五所川原高校生徒の探究する力や表現力を高めるだけでなく、他校の生徒や学校関係者との意見交換等を通じて、成果や探究活動の手法を共有しました。



発表会の様子

生徒の感想

鱈ヶ沢高校の生徒が参加し、質問・意見してくれたのが参考になった。またこのような機会があればもっと研究を深めることができると思う。



五所川原高校の生徒の研究の中に、複数の実験で比較検証しているものがあったり理解しやすかった。また、発表を聞いて、私にはない新しい考え方を得ることができた。

拠点校 三本木農業恵拓高校：JGAP*認証公認審査会における交流活動

日程：令和4年9月1日 場所：名久井農業高校
参加：三本木農業恵拓高校、名久井農業高校の2校から計28名

昨年度、名久井農業高校がJGAPの認証を受ける際、三本木農業恵拓高校の生徒が認証に必要なノウハウを伝え、認証につながったところですが、今年度は、名久井農業高校のJGAP認証公認審査会に両校の生徒が参加することにより、生徒同士がお互いの成長を感じて刺激し合うとともに、認証に必要な知識を深めることができました。

*JGAP…日本の生産環境を念頭に置いた農業生産工程管理の手法



書類審査の様子

生徒の感想

自分が担当しているJGAPのチェック項目を、どのように審査員に伝えればよいか考えるのに苦労した。審査当日はとても緊張したが、精一杯できた。



名久井農業高校の生徒が100個以上のチェック項目を細かいところまで覚えていて、自分たちも負けていけないと思った。JGAP認証取得に向けて頑張っていきたい。

問合せ先 高等学校教育改革推進室 TEL 017-734-9866

お知らせ

県教育委員会では、より良い紙面づくりのため、皆様からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。県教育庁教育政策課情報広報グループ広報担当（TEL 017-734-9868）までご連絡ください。

三内丸山遺跡センターからのお知らせ

◆企画展「三内丸山遺跡の埋葬」

三内丸山遺跡のお墓について紹介する企画展を開催します。

三内丸山遺跡は大きな集落だったことが分かっていますが、亡くなった人たちはどのように埋葬されたのでしょうか。大人の墓、環状配石墓、子どもの墓の違いや、墓がどのような場所につくられていたのかなどを紹介します。



環状配石墓

- 開催期間/令和5年1月21日(土)～令和5年3月12日(日)
- 観覧料/一般/410円、高校生・大学生等/200円、中学生以下無料

問合せ先 三内丸山遺跡センター TEL 017-782-9462

◆世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」を体感!! 「縄文“体感”世界遺産講座」受講団体募集中!!

世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」の価値や魅力、県内の縄文遺跡などのスライド映像資料による解説に加え、三内丸山遺跡から出土した実物の縄文土器や石器・土偶等に実際に触れる体験等をあわせて、専門職員等がわかりやすく説明します。

- 対象団体(次に掲げる県内の団体等)
 - ・学校教育関係(県内学校、大学、各教育研究会等)
 - ・社会教育団体(PTA、子ども会、青年団、学友会等)
 - ・その他一般県民を対象として活動を行う団体
- ※ただし、受講者を一般に募集する講座等の主催団体等からの事前申し込みは除きます。

●講座申込み及び開催決定について
開催希望日の1ヶ月前までに電子メール、FAXのいずれかによりお申し込み下さい。後日、開催の可否を通知いたします。

申込み・問合せ先 三内丸山遺跡センター世界文化遺産課
TEL 017-782-9463 FAX 017-781-6103
電子メール: jomon@pref.aomori.lg.jp

三内丸山遺跡センター

青森県立郷土館からのお知らせ

◆土曜セミナー「郷土館の自然調査とコケの話」

県立郷土館が長年行ってきた「自然調査」とはどんなものだったか、また、調査で新たに見つかったコケ植物を中心に紹介します。

- 日 時/令和5年2月25日(土) 13:30～15:00
- 場 所/青森県総合社会教育センター2階 第5研修室
- 対 象/一般
- 参加料/無料
- 申込み/当日13:00から(30人先着順)

◆青森の達人「あけび蔓細工の魅力」

自然素材のあけび蔓を用い、野趣あふれる花かごを作ります。県立郷土館職員によるあけび蔓細工の歴史に関するミニ講座もあります。

- 日 時/令和5年3月4日(土) 13:30～15:00
- 場 所/青森県総合社会教育センター2階 第1研修室
- 講 師/竹内 啓子氏(あけび蔓工芸作家)
- 対 象/一般(20人先着順)
- 材 料 費/100円(会場受付時に徴収。おつりがありません。)
- 申 込 み/事前申し込みが必要です。
- 受付期間/令和5年2月10日(金)～24日(金)

問合せ先 青森県立郷土館 TEL 017-777-1585
(平日 9:00～17:00)
<https://www.kyodokan.com>

青森県立郷土館

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業の中止・延期又は事業内容を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

おはなし会

読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせや、子供たちからリクエストのあった絵本の紹介を行います。

- 日 時/令和5年3月11日(土) 14:00～14:30
- 場 所/青森県立図書館4階集会室

問合せ先 青森県立図書館 TEL 017-739-4211
<https://www.plib.pref.aomori.lg.jp/>

青森県立図書館



あおもり子育てネット それいけ! 育Tuber (イクチューバー) ～R4年度 家庭教育支援の新作動画公開～

「子育てで悩んだときの『相談窓口』」や「ほめて育てるための『ほめ方のコツ』」など、親が直面する悩みに、ヒントとなる動画を今年度も6本制作しました。

親子で一緒に考え、学ぶことができる、5分間のコンパクトムービーです。

「あおもり子育てネット」で検索、または「青森県総合社会教育センター」のホームページからアクセスして、ぜひご覧ください。

※詳細は、下記までお問合せください。

問合せ先 青森県総合社会教育センター 教育活動支援課
TEL 017-739-1270
<https://www.alis.pref.aomori.lg.jp>

あおもり子育てネット

